

JASON Tips

NMJT_0003

処理リストの編集方法

JASON
JEOL Analytical Software Network

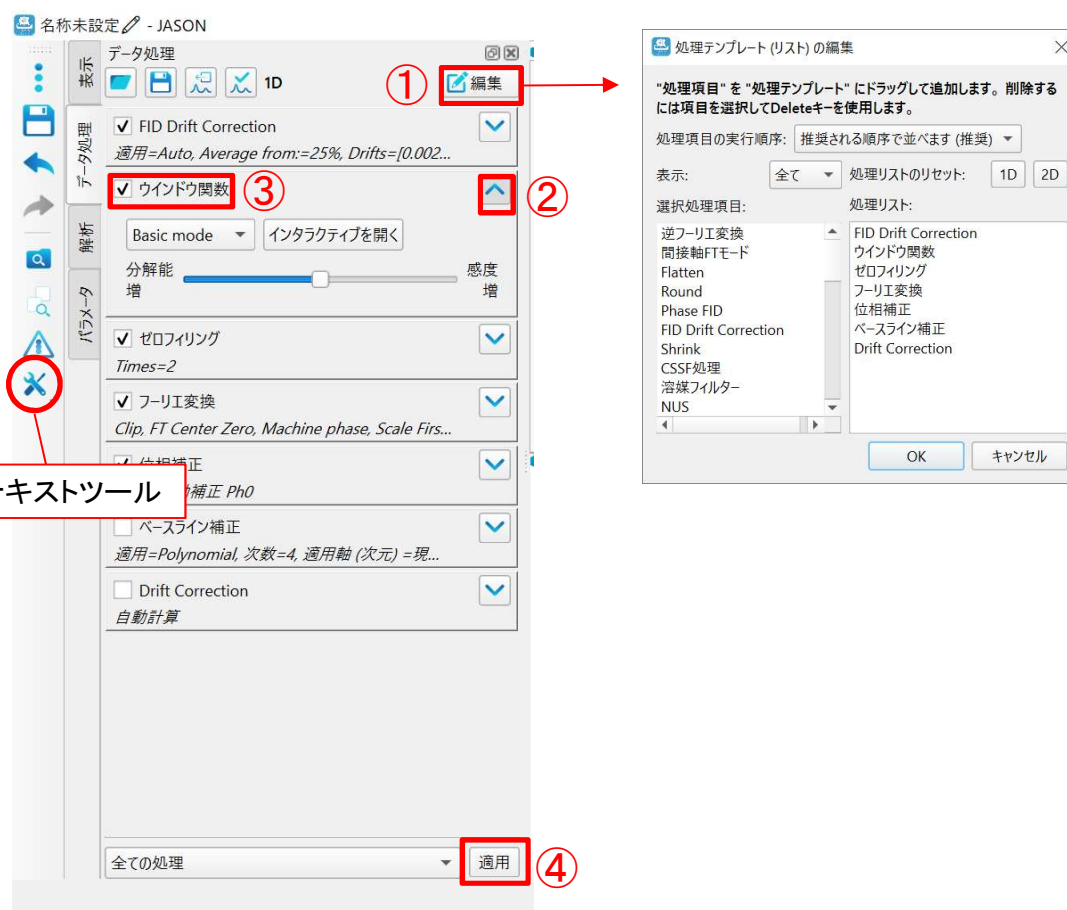


● 処理方法の設定

データを開くと、そのデータに保存されている処理リストを読み取り、自動的に処理を実行したデータが表示されます。

処理方法を変更したい場合は、コンテキストツールボタンから[データ処理]のタブページを開き、次の手順で処理リストの編集を行うことができます。

- ① [編集] ボタンから、処理テンプレートを編集(処理項目の追加・削除)します。
- ② 各処理項目の右側に矢印ボタンがあり、これをクリックすると内容が展開されます。各項目ごとのパラメータの編集はここでを行います。
- ③ 各処理項目にはチェックボックスがあり、処理を実行するかどうかの選択ができます。
- ④ 設定が終わったら、右下の[適用] ボタンをクリックすることで変更箇所がデータに反映されます。

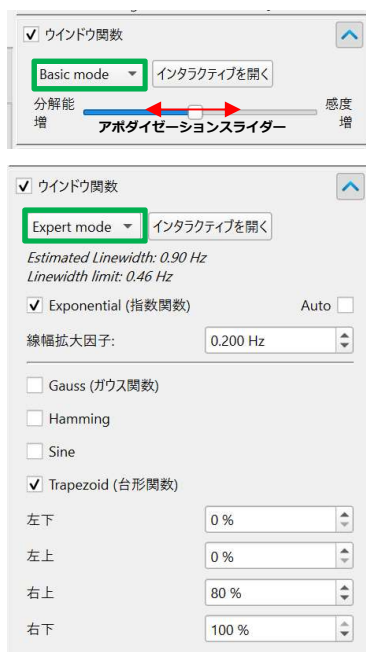




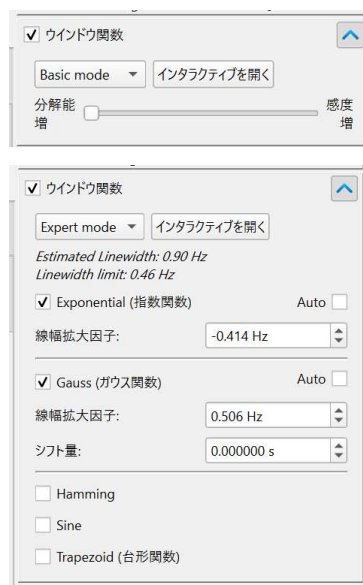
● ウィンドウ関数の設定

ウィンドウ関数の内容を展開すると、アポダイゼーションスライダーが表示されます(Basic mode)。スライダーを左右に動かして[適用]ボタンを押すことで、分解能またはS/Nのいずれかを強調したスペクトルが得られます。さらに、Basic modeからExpert modeに変更すると、Exponential関数の他に、Gauss, Sine, Trapezoid関数、もしくはそれらの複合をウィンドウ関数として設定できます。また、Expert modeで[インタラクティブを開く]をクリックすると、FID上の関数の形を視覚的に把握することができます。

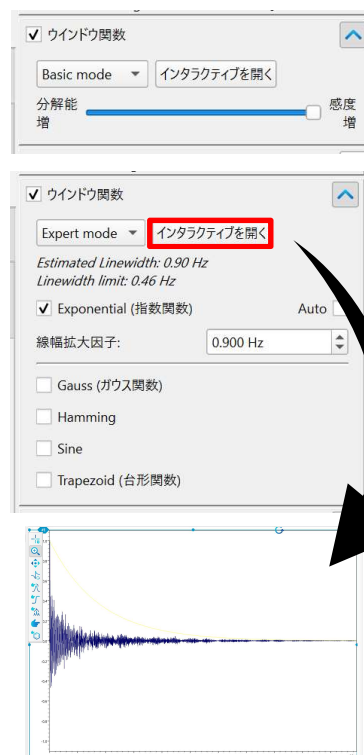
初期設定(生データの設定)



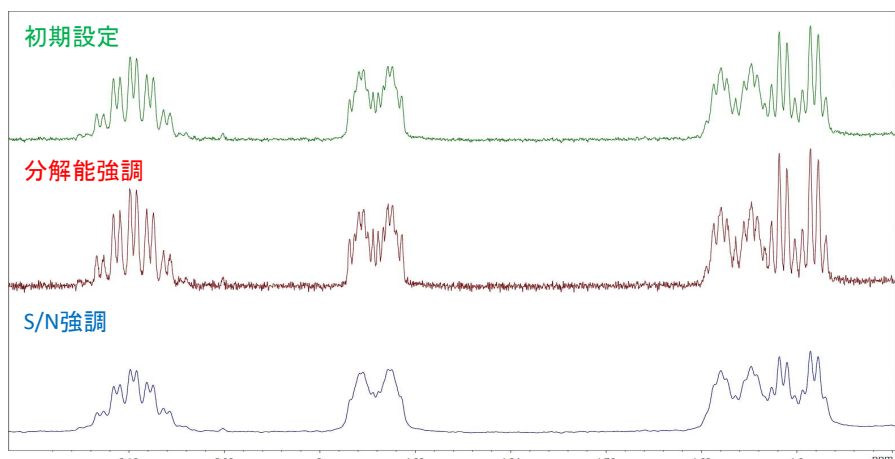
分解能強調



S/N強調



上記の設定で分解能を強調した場合、S/Nを強調した場合はそれぞれ次のようなスペクトルが得られます。



※これらはJASON(JEOL Analytical Software Network) ver.5.1によるものです。